

- 問1 6世紀後半の飛鳥時代において、大陸から伝わった仏教の受容を積極的に進めた蘇我氏と、日本の伝統的な神を重んじてこれに反対し、最終的に軍事衝突の末に滅ぼされた有力な豪族はどこか。 (2025年 岡山県公立入試 類似)
1. 山名氏 2. 物部氏 3. 大伴氏 4. 中臣氏
- 問2 大化の改新を進めた中大兄皇子や中臣鎌足らが、高向玄理や僧旻といった大陸帰りの人々を「国博士」として重用した理由として、最も適切な説明はどれですか。 (2024年 東京都公立入試 類似)
1. 最澄が中国から持ち帰った新しい仏教の教えを、国家の公式な宗教として広めるため 2. 元軍の侵攻に備えるため、大陸の軍事技術や城郭の築き方を導入する必要があったため 3. 勘合貿易を円滑に進めるために、中国の商人や役人と交渉できる語学力が必要だったため 4. 隋や唐の高度な政治制度や法律の知識を、日本の新しい国づくりに反映させるため
- 問3 飛鳥時代から現代までの日本の歴史を時系列で並べた際、聖徳太子が「十七条の憲法」を制定した時期よりも「後」の出来事であり、かつ奈良時代に行われた事柄として正しいものはどれですか。 (2024年 静岡県公立入試 類似)
1. 安土桃山時代を象徴する、豪華な装飾が施された城郭が各地に築かれたこと 2. バブル経済が崩壊し、長期にわたる景気の後退が始まったこと 3. 日本で最初の女性天皇として、推古天皇が即位し政治の基盤を整えたこと 4. 自分で新しく切り開いた土地を永久に自分のものにすることを認める「墾田永年私財法」の施行
- 問4 聖徳太子が「十七条の憲法」の制定や「冠位十二階」の制度を導入した背景にある、当時の政治的な狙いとして最も適切なものはどれですか。 (2017年 沖縄県公立入試 類似)
1. 仏教の影響を排除し、神道に基づいた古くからの統治方法を復活させるため 2. 特定の豪族が代々高い位を独占する仕組みを強化し、政権を安定させるため 3. 豪族同士の争いを鎮め、天皇を中心とした中央集権的な政治体制を整えるため 4. 農民に土地を分け与える班田収授法を施行するための、全国的な戸籍を作成するため
- 問5 7世紀後半、日本が対馬や九州、瀬戸内海沿岸などに「山城」を築き、大規模な国防強化を行うこととなった直接の理由として正しいものはどれですか。 (2016年 秋田県公立入試 類似)
1. 平将門の乱や藤原純友の乱が発生し、地方の治安が急速に悪化したため。 2. 蝦夷（えみし）との戦いが激化し、東北地方の支配権を確立するため。 3. 白村江の戦いで唐・新羅の連合軍に敗れ、日本本土への侵攻が懸念されたため。 4. 遣唐使を廃止したことで唐との国交が断絶し、緊張状態が高まったため。
- 問6 飛鳥時代、中国や朝鮮半島から大陸の文化や制度が伝えられる中で導入された「冠位十二階」について、その目的を説明したものとして最も適切なものはどれか。 (2022年 宮城県公立入試 類似)
1. 特定の有力な豪族だけに、代々高い位を保証するため 2. 仏教の教えを広めることで、国を平和に導くため 3. 地方の土地や人民を、すべて天皇が直接支配するため 4. 家柄にとらわれず、有能な人材を役人として採用するため
- 問7 日本の歴史における時代区分と出来事の前後関係について説明した文として、最も適当なものを次のうちから1つ選びなさい。 (2021年 宮崎県公立入試 類似)
1. 奈良時代に豊臣秀吉が太閤検地を行い、その後、安土桃山時代に平清盛が政権を握った。 2. 飛鳥時代にフビライ・ハンが来朝し、その後、室町時代に平清盛が太政大臣に就任した。 3. 平安時代末期に平清盛が日宋貿易を推進し、その後、鎌倉時代にフビライ・ハン率いる元が日本へ押し寄せた。 4. 鎌倉時代に平清盛が幕府を開き、その後、安土桃山時代にフビライ・ハンによる元寇が起こった。
- 問8 飛鳥時代、推古天皇の摂政として政治を行い、国をまとめるために仏教を厚く敬うよう説いた人物は誰ですか。現存する世界最古の木造建築物とされる法隆寺を建立したことで知られる人物を選んでください。 (2018年 岩手県公立入試 類似)
1. 足利尊氏 2. 中臣鎌足 3. 藤原道長 4. 聖徳太子
- 問9 聖徳太子が、十七条の憲法の中で「あつく三宝を敬え」と記すなど、政治に仏教を積極的に取り入れた目的として最も適切な説明を選んでください。 (2018年 岩手県公立入試 類似)
1. 仏教を精神的な支えとすることで、豪族を団結させ、天皇を中心とした国家体制を安定させるため 2. 寺院を軍事的な拠点として整備し、対立する豪族を武力によって制圧するため 3. 大陸から移り住んできた渡来人の勢力を弱め、古来の日本の神々への信仰を独占するため 4. 仏教の教養を役人の採用基準とするため、中国の「科挙」の制度を完全に模倣するため
- 問10 7世紀に中国を統一し、律令と呼ばれる法体系に基づく統治制度を確立して、日本をはじめとする東アジア諸国の国づくりに決定的な影響を与えた帝国を選んでください。 (2020年 徳島県公立入試 類似)
1. 隋 2. 唐 3. 漢 4. 宋
- 問11 白村江の戦いで大敗した倭（日本）の朝廷は、唐や新羅による日本への侵攻を強く警戒しました。九州北部や対馬などの防衛を強化するために配置された、東国出身の兵士と、敵の襲来をいち早く知らせるための合図を送る施設の組み合わせとして正しいものを選んでください。 (2025年 山口県公立入試 類似)
1. 健児と国府 2. 防人と烽火台 3. 足軽と関所 4. 御家人と元寇防壁
- 問12 飛鳥時代の外交と国防に関する記述として、白村江の戦いによる敗戦がその後の日本の政策に与えた影響を説明したものとして最も適切なものはどれですか。 (2018年 富山県公立入試 類似)
1. 大陸との交流を完全に断つため、遣唐使を廃止して国風文化を振興し、武士の力による独自の防衛体制を整えた。 2. 唐や新羅の侵攻に備え、九州に水城や防人を配置するとともに、都を近江の大津宮へ移して国内の守りを固めた。 3. 清の軍勢力に対抗するため、欧米の技術を導入して近代的な軍隊を組織し、江華島事件をきっかけに海外進出を始めた。 4. 元（モンゴル）の襲来を警戒し、博多湾の沿岸に石造りの防壁を築いて、全国の御家人を組織した。
- 問13 7世紀後半、天武天皇の時代に鑄造されたとされる日本最古の銅銭の名称を次の中から選びなさい。かつては708年に発行された和同開珎が最古とされていましたが、飛鳥池遺跡の発掘調査などにより、この貨幣の存在が改めて注目されました。 (2023年 佐賀県公立入試 類似)
1. 和同開珎 2. 富本銭 3. 無文銀銭 4. 皇朝十二銭

答え合わせ・解説

問1	答え 2 物部氏	古墳時代から飛鳥時代にかけて、政治の実権をめぐり有力な豪族の間で激しい争いが起こりました。仏教を新しい統治の道具として取り入れようとした蘇我氏に対し、軍事や刑罰を司り伝統を重んじた物部氏は強く反対しました。この対立は「崇仏論争」と呼ばれ、最終的に蘇我馬子が物部守屋を滅ぼしたことで、日本における仏教受容の流れが決定的となりました。
問2	答え 4 隋や唐の高度な政治制度や法律の知識を、日本の新しい国づくりに反映させるため	当時の日本は、豪族が権力を持つ古い政治体制から、中国を模範とした天皇中心の集権的な国家（律令国家）への転換を急いでいました。そのためには、実際に隋や唐で政治の実態や法体系を学んできた留学生や学問僧の知見が不可欠であり、彼らを政治顧問である国博士として登用することで、改革のスピードと精度を高めようとしてしました。なお、最澄や勘合貿易、元との戦いは、いずれも大化の改新より後の時代の出来事です。
問3	答え 4 自分で新しく切り開いた土地を永久に自分のものにすることを認める「墾田永年私財法」の施行	十七条の憲法は7世紀初頭の飛鳥時代に制定されました。これに対し、墾田永年私財法は8世紀（743年）の奈良時代に制定された法令であり、時代順として後に位置します。推古天皇の即位は憲法制定の前提となる出来事であり、城郭の建築やバブル崩壊はそれよりもさらに数百年から千年以上後の出来事です。当時の社会状況の変化を時代区分ごとに理解することが重要です。
問4	答え 3 豪族同士の争いを鎮め、天皇を中心とした中央集権的な政治体制を整えるため	当時は蘇我氏などの有力豪族が政治の実権をめぐって対立していました。聖徳太子は、家柄ではなく才能や功績に応じて位を与える「冠位十二階」や、役人の心得を説く「十七条の憲法」を定めることで、豪族中心の政治から天皇を中心とするまとまりのある国づくりを目指しました。
問5	答え 3 白村江の戦いで唐・新羅の連合軍に敗れ、日本本土への侵攻が懸念されたため。	百済の復興を支援するために朝鮮半島へ送られた日本軍が、663年の白村江の戦いで唐・新羅の連合軍に大敗したことが発端です。この敗北により、当時の指導者であった中大兄皇子は、勝利に乗じた唐などが日本へ攻めてくることを恐れ、国家の存亡をかけて防人や山城による防衛線を作り上げました。
問6	答え 4 家柄にとらわれず、有能な人材を役人として採用するため	当時の日本は、大陸の進んだ文化を取り入れながら、天皇を中心とする国づくりを急いでいました。そのためには、世襲によって地位が決まる古い氏姓制度から脱却し、能力のある人物を政治の担い手として確保する必要がありました。この制度の背景には、同時期の食文化と同様に、大陸との活発な交流が影響しています。
問7	答え 3 平安時代末期に平清盛が日宋貿易を推進し、その後、鎌倉時代にフビライ・ハン率いる元が日本へ押し寄せた。	平清盛は平安時代末期に太政大臣となり、大輪田泊を整備して日宋貿易を進めました。その後、鎌倉時代中期の13世紀後半に、元の皇帝フビライ・ハンによる元寇が起こりました。平清盛の政権獲得（平安時代末期）はフビライ・ハンの侵攻（鎌倉時代）よりも前の出来事となります。
問8	答え 4 聖徳太子	推古天皇の摂政であった聖徳太子（厩戸王）は、仏教を深く信仰し、政治の柱に据えました。その象徴として奈良県に法隆寺を建立し、仏教の教えを通じて豪族たちの対立を抑え、天皇を中心とした国づくりを目指しました。中臣鎌足は大化の改新、足利尊氏は室町幕府の創設、藤原道長は平安時代の摂関政治に関わる人物です。
問9	答え 1 仏教を精神的な支えとすることで、豪族を團結させ、天皇を中心とした国家体制を安定させるため	当時の日本は有力な豪族たちが勢力争いをしており、国家としてのまとまりに欠けていました。聖徳太子は、共通の信仰対象として仏教を広めることで、豪族たちの対立を解消し、中央集権的な国家を作り上げるための精神的基盤にしようと考えました。これは、冠位十二階や十七条の憲法といった制度改革とも連動した動きです。
問10	答え 2 唐	この帝国は、隋が短期間で滅びた後に中国を再統一し、約300年にわたって繁栄しました。日本は遣唐使を派遣して、その優れた政治制度や仏教文化、都市計画などを積極的に取り入れ、律令国家としての基盤を固めていきました。
問11	答え 2 防人と烽火台	敗戦後、唐・新羅連合軍の日本上陸を恐れた天智天皇は、北九州の沿岸部に「防人（さきもり）」を配置し、敵の発見を都に伝えるための「烽火（とぶひ／烽火台）」を設置しました。あわせて、大宰府を守るための水城（みずき）や朝鮮式山城を築いて防御を固めました。元寇防壁は鎌倉時代の元に対する防衛施設です。
問12	答え 2 唐や新羅の侵攻に備え、九州に水城や防人を配置するとともに、都を近江の大津宮へ移して国内の守りを固めた。	白村江の戦いで唐・新羅の連合軍に大敗した中大兄皇子（天智天皇）は、日本への報復的な侵攻を強く警戒しました。そのため、九州の太宰府付近に水城（みずき）や大野城などの城を築き、東国から徴集した防人（さきもり）を配置して国境の警備を強化しました。また、都を飛鳥から内陸の大津宮（現在の滋賀県）へ移したのも、防衛上の理由が背景にあります。
問13	答え 2 富本銭	奈良県の飛鳥池遺跡などで大量に出土したことにより、それまで最古の貨幣と考えられていた和同開珎（708年発行）よりも古い683年頃に、天武天皇によってつくられたことが判明しました。表面には「富」と「本」の文字が記されています。当時の律令国家としての体制を整える一環として、また呪術的な目的も含めて鑄造されたと考えられています。

- 問1 聖徳太子が推古天皇の摂政として行った政治改革の一つで、家柄にとらわれず、個人の才能や功績に応じて位を与え、役人に取り立てる制度の名称は何か。 (2018年 北海道公立入試 類似)
1. 十七条の憲法 2. 班田収授法 3. 公地公民 4. 冠位十二階
- 問2 8世紀ごろの東アジアの情勢を説明した次の文章において、空欄に当てはまる語句の組み合わせとして正しいものはどれか。「中国大陸では（①）が広大な領土を支配しており、その都である長安は国際色豊かな都市として栄えた。また、同時期の朝鮮半島では（②）が半島を統一しており、日本とも活発な交流があった。」 (2018年 大分県公立入試 類似)
1. ①：隋、②：高句麗 2. ①：漢、②：百済 3. ①：宋、②：高麗 4. ①：唐、②：新羅
- 問3 7世紀初め、推古天皇の摂政であった聖徳太子（厩戸王）は、中国の高度な制度や文化を学ぶために小野妹子らを派遣しました。このとき、小野妹子らが派遣された、南北に分かれていた中国を約300年ぶりに統一した王朝の名前として正しいものを選びなさい。 (2021年 三重県公立入試 類似)
1. 漢 2. 唐 3. 秦 4. 隋
- 問4 天武天皇による律令国家の形成過程において、その政治的な背景や仕組みについて述べた文として、最も適切なものはどれですか。 (2017年 京都府公立入試 類似)
1. 班田収授法を廃止することで、地方の有力者が独自に土地を開墾し、私有化することを奨励した。
2. 唐の軍隊が九州に侵入してきたため、防衛を目的として大宰府に防人を配置し、水城を築いた。
3. 壬申の乱で有力豪族を抑えて勝利したことで、貴族に頼らない天皇中心の強力な政治体制が可能になった。
4. 摂政や関白といった役職を設けることで、藤原氏などの有力な貴族と協力して政治を行う体制を整えた。
- 問5 飛鳥時代の出来事のうち、中大兄皇子（天智天皇）らによる大化の改新（645年）よりも前に起こった出来事はどれですか。 (2026年 秋田県公立入試 類似)
1. 正倉院に納められているような精緻な戸籍が全国で作られた
2. 桓武天皇によって平安京への遷都が行われた
3. 天武天皇が壬申の乱に勝利して実権を握った
4. 聖徳太子によって小野妹子が隋へ派遣された
- 問6 7世紀後半、日本は唐や新羅による侵攻の脅威に備え、九州の大宰府周辺に「水城（みずき）」と呼ばれる大規模な土塁や、山城（朝鮮式山城）を築きました。これらの防御施設の築城にあたって、高度な土木技術を伝え、建設を指導した渡来人たちは、どこの国から来た人々が中心であったとされていますか。 (2021年 滋賀県公立入試 類似)
1. 高麗 2. 新羅 3. 百済 4. 渤海
- 問7 7世紀後半、朝鮮半島において唐と結ぶことで百済や高句麗を滅ぼし、半島を初めて統一した国を選びなさい。 (2014年 和歌山県公立入試 類似)
1. 高句麗 2. 隋 3. 百済 4. 新羅
- 問8 701年に制定され、唐の制度を模範として天皇を中心とした中央集権的な政治体制の基礎を確立した法典は何ですか。 (2020年 愛知県公立入試 類似)
1. 御成敗式目 2. 大宝律令 3. 十七条の憲法 4. 養老律令
- 問9 660年に唐と新羅が連合して百済を滅ぼし、その3年後に日本が百済復興を助けようとして唐・新羅連合軍に大敗した「白村江の戦い」という歴史的背景を踏まえ、日本が九州北部に「防人」を配置した直接的な目的として最も適切なものを選びなさい。 (2020年 広島県公立入試 類似)
1. 唐や新羅の軍勢が日本列島へ攻め込んでくる事態に備え、国防を固めるため
2. 九州地方で頻発していた政府への反乱を武力で鎮圧し、国内を安定させるため
3. 九州北部の広大な未開墾地を兵士に耕作させ、大陸への輸出入穀物を生産するため
4. 大陸の先進的な文化を取り入れるため、唐からの使者を九州で手厚く迎えるため
- 問10 大分県などの九州地方の歴史を記した年表において、倭国（日本）の軍勢が朝鮮半島へ出兵し、唐・新羅の連合軍に敗れた「白村江の戦い（663年）」が含まれる区分として、適切な世紀を選びなさい。 (2020年 神奈川県公立入試 類似)
1. 7世紀 2. 6世紀 3. 8世紀 4. 9世紀
- 問11 7世紀、朝鮮半島では唐と新羅が結んで百済や高句麗を滅ぼしました。日本（倭）は百済の復興を支援するために大軍を送りましたが、663年に朝鮮半島西岸の白村江で大敗しました。この「白村江の戦い」において、日本が戦った相手の組み合わせとして正しいものはどれか、選びなさい。 (2025年 茨城県公立入試 類似)
1. 唐・高句麗の連合軍 2. 新羅・高句麗の連合軍 3. 百済・新羅の連合軍 4. 唐・新羅の連合軍
- 問12 大化の改新の中心人物であった中大兄皇子が、のちに即位して天智天皇となった際に、律令国家の基礎を築く目的で作成した日本最初の全国的な戸籍の名称として正しいものを選びなさい。 (2021年 滋賀県公立入試 類似)
1. 庚寅年籍 2. 十七条の憲法 3. 班田収授法 4. 庚午年籍
- 問13 日本最古級の橋とされる京都府宇治市の宇治橋には、ある人物が建立に関わったという伝承があります。大化の改新から即位に至る一連の政治改革を行ったこの人物の、政治の目的や動向を説明したものとして最も適切なものはどれですか。 (2018年 京都府公立入試 類似)
1. 中大兄皇子として政治を主導し、土地と人民を国家が直接支配する公地公民などの改革を進め、天皇への権力集中を図った。
2. 摂政として推古天皇を助け、冠位十二階や十七条の憲法を制定することで、家柄にとられない人材登用と役人の心構えを説いた。
3. 壬申の乱で勝利した後には即位し、大規模な都である藤原京の造営や、律令制度の完成に向けた準備を本格化させた。
4. 隠岐から脱出して鎌倉幕府を滅ぼした後、建武の新政を開始して、公家が政治の中心となる仕組みを復活させようとした。
- 問14 663年に朝鮮半島で行われた「白村江の戦い」において、日本（倭）が唐・新羅の連合軍に敗れた後の出来事として、歴史的背景に合致する説明はどれですか。 (2017年 沖縄県公立入試 類似)
1. 敗戦の責任を問い、中大兄皇子が政治の表舞台から退き、大王による豪族連合政治が復活した
2. 大陸の影響を拒絶するため、遣唐使の派遣を完全に停止し、国風文化を育てる政策に転換した
3. 天皇中心の政治を諦め、有力豪族である蘇我氏に全ての政治権力を委ねる体制を整えた
4. 唐や新羅の侵攻に備えて、九州に水城を築き、防人という兵士を配置して国防を強化した

答え合わせ・解説

問1	答え 4 冠位十二階	才能や功績に応じて冠の色で位を分けた制度は冠位十二階である。これにより、従来の氏姓制度にとらわれず有能な人物が発用される道が開かれた。十七条の憲法は「和を以て貴しとなす」など役人の心構えを示したものである。
問2	答え 4 ①：唐、②：新羅	7世紀後半、唐は朝鮮半島の新羅と結んで百済と高句麗を滅ぼしました。その後、新羅は唐の勢力を半島から退けて統一を果たします。8世紀は、中国では唐が全盛期を迎え、朝鮮半島では統一新羅が安定した統治を行っていた時期に当たります。
問3	答え 4 隋	聖徳太子は、中国の統一王朝である隋に対して「遣隋使」を派遣しました。それまでの朝鮮半島を通じた交流だけでなく、中国と直接国交を結ぶことで、先進的な仏教文化や政治制度を直接取り入れ、天皇を中心とする中央集権国家の確立を目指しました。
問4	答え 3 壬申の乱で有力豪族を抑えて勝利したことで、貴族に頼らない天皇中心の強力な政治体制が可能になった。	天武天皇は、武力によって皇位継承争いを制したため、それまでの有力豪族の影響力を抑え、自らに権力を集中させることができました。これが後の大宝律令へとつながる中央集権体制の基盤となりました。摂関政治や防人の配置（白村江の戦い後）、班田収授法の形骸化は、それぞれ異なる時代や背景に基づいています。
問5	答え 4 聖徳太子によって小野妹子が隋へ派遣された	遣隋使の派遣は607年に行われた出来事であり、645年の大化の改新よりも前です。壬申の乱（672年）や、721年の正倉院文書に見られるような律令制度に基づく戸籍の整備、そして794年の平安京遷都はすべて大化の改新よりも後の出来事です。
問6	答え 3 百済	663年の白村江の戦いで日本（倭）と百済の連合軍が唐・新羅の連合軍に敗北した後、日本は大陸からの報復的な侵攻を恐れて国防を強化しました。この際、日本に亡命してきた百済の人々が持つ高度な技術が、水城や大野城といった堅固な防御施設の築城に活用されました。
問7	答え 4 新羅	4世紀頃から高句麗、百済、新羅の3国が勢力を争う三国時代が続いていましたが、7世紀に唐と結んだ新羅が660年に百済、668年に高句麗を相次いで滅ぼしました。その後、新羅は共同で戦った唐の勢力も退け、676年に朝鮮半島の統一を成し遂げました。
問8	答え 2 大宝律令	唐の「律（刑罰規定）」と「令（行政規定）」を参考にして、日本で初めて本格的に整備された律令です。この法典の完成により、土地と人民を国家が直接支配する「公地公民」の原則に基づいた律令国家の仕組みが形作られました。
問9	答え 1 唐や新羅の軍勢が日本列島へ攻め込んでくる事態に備え、国防を固めるため	660年の百済滅亡と、663年の白村江の戦いにおける日本の大敗により、当時の日本（倭国）は唐や新羅による報復的な侵攻を受ける可能性を非常に危惧しました。このため、天智天皇は大宰府などがある九州北部の守りを固めるために「防人」を配置し、あわせて水城（みずき）と呼ばれる堤防や、山城などの防御施設を築いて、国家存亡の危機に備える体制を整えました。
問10	答え 1 7世紀	白村江の戦いは西暦663年に発生しました。西暦601年から西暦700年までの期間が7世紀に該当するため、この戦いや、その直後に強化された九州の防衛（水城や大野城の築城など）は、すべて7世紀の出来事として分類されます。
問11	答え 4 唐・新羅の連合軍	660年に唐と新羅の連合軍によって百済が滅ぼされた際、日本は百済の遺民から救援を求められました。中大兄皇子（後の天智天皇）はこれに応じ、朝鮮半島へ大軍を派遣しましたが、白村江（現在の韓国の錦江河口付近）において唐・新羅の圧倒的な水軍の前に敗北を喫しました。これにより百済復興の望みは絶たれることとなりました。
問12	答え 4 庚午年籍	天智天皇は、670年に日本で初めてとなる全国的な戸籍である「庚午年籍（こうごねんじゃく）」を作成しました。これは、国家が民衆の氏姓や人数を正確に把握することで、安定した税の徴収や徴兵を行うための重要な基盤となりました。後の天武天皇の時代に作られた「庚寅年籍」と混同しないよう注意が必要です。
問13	答え 1 中大兄皇子として政治を主導し、土地と人民を国家が直接支配する公地公民などの改革を進め、天皇への権力集中を図った。	宇治橋の伝承に関連する天智天皇（中大兄皇子）は、唐や新羅といった大陸の強国に対抗するため、国内の権力を一つにまとめる必要がありました。そこで、蘇我氏という有力豪族を打倒し、それまで豪族が私有していた土地や人民を国家のものとする「公地公民」を掲げ、中央集権体制の確立を目指しました。
問14	答え 4 唐や新羅の侵攻に備えて、九州に水城を築き、防人という兵士を配置して国防を強化した	白村江の戦いでの敗北は日本にとって大きな危機であり、中大兄皇子（後の天智天皇）は九州の大宰府周辺に防御用の堤防である水城や朝鮮式山城を築きました。この国防の必要性が、国家の権限を中央に集中させる律令制整備の大きな要因となりました。

- 問1 飛鳥時代、聖徳太子が小野妹子を中国の隋に派遣した歴史的背景と目的の説明として、最も適切なものはどれですか。 (2021年 熊本県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|--|---|
| 1. 大陸の進んだ制度や仏教文化を直接取り入れ、天皇を中心とした政治制度を整えるため。 | 2. 白村江の戦いでの敗北を受けて、唐や新羅の侵攻に備えた外交交渉を行うため。 | 3. 阿倍仲麻呂を隋の皇帝に紹介し、日本の律令制度が完成したことを報告するため。 | 4. 菅原道真の提言に基づき、形式的な外交を廃止して国内の政治改革に専念するため。 |
|---|---|--|---|
- 問2 大化の改新から始まる一連の政治改革において、中大兄皇子らが目指した国家のあり方として最も適切な説明はどれか。 (2025年 岐阜県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|--|---|
| 1. 有力な豪族であった蘇我氏の権限をさらに強化し、貴族たちが合議制によって政治を主導する仕組みを作ること。 | 2. 土地と人民を国家のものとする公地公民を原則とし、天皇を中心とした中央集権国家を確立すること。 | 3. 唐の律令制度を拒否し、日本独自の武士による封建的な主従関係に基づいた政治体制を構築すること | 4. 地方豪族を国司に任命してその地域の支配権を完全に認め、地方自治を基礎とした国づくりを進めること。 |
|--|---|--|---|
- 問3 中大兄皇子（天智天皇）らが、有力豪族であった蘇我氏を打倒して開始した「大化の改新」と呼ばれる政治改革の主な目的として、最も適切なものはどれですか。 (2023年 沖縄県公立入試 類似)
- | | | | |
|-----------------------------|---------------------------|-------------------------|-------------------------|
| 1. 天皇を中心とした、新しい国家のしくみをつくること | 2. 大陸との交易を制限し、独自の文化を育てること | 3. 仏教の力を借りて、国家の混乱を鎮めること | 4. 武士の力を結集し、地方の反乱を抑えること |
|-----------------------------|---------------------------|-------------------------|-------------------------|
- 問4 663年に、日本（倭）が百済の復興を支援するために朝鮮半島へ出兵した際、唐と新羅の連合軍と戦って大敗した出来事を何とといいますか。 (2021年 佐賀県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|---------|-----------|----------|
| 1. 文永の役 | 2. 壬申の乱 | 3. 白村江の戦い | 4. 刀伊の入寇 |
|---------|---------|-----------|----------|
- 問5 7世紀から10世紀初めにかけて中国を統一した唐が、当時の日本や東アジア諸国に与えた制度的な影響として、最も適切なものはどれか。 (2018年 大分県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|---|---|
| 1. キリスト教の布教とともにヨーロッパの科学技術を導入し、東アジア全域に西洋文化を広めた。 | 2. 土地や人民を国家が直接支配し、法律に基づいて統治を行う律令制度を完成させ、周辺諸国の手本となった。 | 3. 朱子学を国学として採用し、身分制度を厳格に管理する江戸幕府の統治の仕組みを構築した。 | 4. 武士が政治の表舞台に立つ封建制度を確立し、日本における鎌倉幕府の成立に直接的な影響を与えた。 |
|--|--|---|---|
- 問6 7世紀後半、大和政権が唐や新羅からの侵攻に備えて、主に東国から徴兵した兵士を九州北部の警備にあてた制度を何と呼びますか。 (2025年 奈良県公立入試 類似)
- | | | | |
|-------|-------|-------|-------|
| 1. 防人 | 2. 衛士 | 3. 足輕 | 4. 健児 |
|-------|-------|-------|-------|
- 問7 7世紀前半の東アジアでは、中国を統一した唐が、朝鮮半島の北部に位置する国を攻撃するなど、軍事的な緊張が高まっていました。このような国際情勢の変化は、日本において強力な中央集権国家を目指す大化の改新が起こる大きな要因となりました。このとき、唐の攻撃を受けた朝鮮半島北部の国名を答えなさい。 (2021年 熊本県公立入試 類似)
- | | | | |
|-------|-------|-------|--------|
| 1. 渤海 | 2. 新羅 | 3. 百済 | 4. 高句麗 |
|-------|-------|-------|--------|
- 問8 聖徳太子が、十七条の憲法の中で「あつく三宝を敬え」と記すなど、政治に仏教を積極的に取り入れた目的として最も適切な説明を選んでください。 (2018年 岩手県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|---|---|
| 1. 寺院を軍事的な拠点として整備し、対立する豪族を武力によって制圧するため | 2. 仏教の教養を役人の採用基準とするため、中国の「科挙」の制度を完全に模倣するため | 3. 仏教を精神的な支えとすることで、豪族を団結させ、天皇を中心とした国家体制を安定させるため | 4. 大陸から移り住んできた渡来人の勢力を弱め、古来の日本の神々への信仰を独占するため |
|--|--|---|---|
- 問9 古代の日本の歴史を振り返ると、天皇が積極的に仏教を保護し、各地に大規模な寺院を建立させたことがわかります。このように国家が特定の宗教を重んじた背景や目的として、最も適切な説明はどれですか。 (2017年 長野県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|---|--------------------------------------|
| 1. 大陸の進んだ文化や技術を導入し、天皇を中心とした国家の仕組みを整えるため | 2. キリスト教の伝来を阻止し、日本独自の八百万の神々への信仰を一本化するため | 3. 大陸との公的な交流をすべて断絶し、国内の勢力だけで自立した国づくりを行うため | 4. 儒教の教えに基づき、武士が政治の主導権を握るための正当性を得るため |
|---|---|---|--------------------------------------|
- 問10 672年に発生した古代最大の内乱である壬申の乱の経緯と結果についての説明として正しいものを、次のうちから1つ選びなさい。 (2026年 熊本県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|--|--|
| 1. 天智天皇の死後、皇位継承をめぐって弟の大海人皇子と子の友友皇子が争い、勝利した大海人皇子が天武天皇となった。 | 2. 唐と新羅の連合軍に敗北したことで朝鮮半島から撤退し、国内の防衛体制や政治機構の整備を急いだ。 | 3. 中大兄皇子らが蘇我氏を倒して政治の改革を開始し、天皇を中心とする政治機構の確立を目指した。 | 4. 持統天皇の時代に完成した本格的な条坊制を持つ都であり、古代国家の形成を象徴する出来事となった。 |
|---|---|--|--|
- 問11 7世紀の東アジアの情勢について、朝鮮半島の北部に位置する国家が唐から大規模な軍事攻撃を受けたことで、日本（倭）を含む周辺諸国の国際的な緊張が高まった状況を説明した文章があります。この文章の中で、唐の攻撃の対象となり、東アジアの緊張の一因となった国家として正しいものを選びなさい。 (2020年 徳島県公立入試 類似)
- | | | | |
|-------|-----------|--------|-------|
| 1. 百済 | 2. 加耶（任那） | 3. 高句麗 | 4. 新羅 |
|-------|-----------|--------|-------|
- 問12 7世紀前半、聖徳太子（厩戸王）らが中心となって奈良盆地の南部で栄えた、日本で最初となる本格的な仏教文化について、その特色を説明したものとして最も適切なものを次の中から選びなさい。 (2022年 奈良県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|--|---|
| 1. 平安時代に、日本の風土や生活に合わせた優雅で洗練された貴族中心の文化である。 | 2. 聖武天皇の時代に、仏教の力によって国を安定させようとして全国に広がった文化である。 | 3. 中国や朝鮮半島を経由し、インドや西アジアの影響も受けた国際色豊かな文化である。 | 4. 遣唐使が伝えた唐の文化に、力強く健康的な武士の気風が加わった文化である。 |
|---|--|--|---|
- 問13 飛鳥時代、聖徳太子（厩戸王）は中国の進んだ制度や文化を学ぶため、小野妹子らを中国へ派遣しました。当時、約300年ぶりに中国全土を統一していたこの王朝の名称として正しいものを選びなさい。 (2023年 静岡県公立入試 類似)
- | | | | |
|------|------|------|------|
| 1. 唐 | 2. 隋 | 3. 明 | 4. 宋 |
|------|------|------|------|

答え合わせ・解説

問1	答え 1 大陸の進んだ制度や仏教文化を直接取り入れ、天皇を中心とした政治制度を整えるため。	聖徳太子は冠位十二階や十七条の憲法を制定し、豪族中心の政治から天皇中心の政治への転換を図っていました。遣隋使の派遣は、その改革のモデルとなる中国の高度な政治制度や、国家の精神的支柱としての仏教を学ぶための重要な外交手段でした。選択肢にある菅原道真は遣唐使の停止を提言した人物であり、阿倍仲麻呂は遣唐使として渡った人物なので、時代や背景が異なります。
問2	答え 2 土地と人民を国家のものとする公地公民を原則とし、天皇を中心とした中央集権国家を確立すること。	大化の改新の最大の目的は、それまで有力豪族（蘇我氏など）が私有していた土地や人民を国家のものとする「公地公民」の制を導入し、天皇に権力を集中させる中央集権国家を築くことにありました。これは当時の唐の制度を参考にしたものであり、後の律令国家形成へとつながる重要な改革でした。「国司の権限を強める」という選択肢は、中央集権化とは逆の方向（地方分権）を指すため誤りです。
問3	答え 1 天皇を中心とした、新しい国家のしくみをつくること	蘇我氏のような特定の豪族が政治の実権を握る状況を打破し、土地や人民を国家（天皇）のものとする公地公民の制などを導入しようとしました。これは、当時の中国の律令制度を模範とした中央集権的な国家体制の構築を目指したものです。
問4	答え 3 白村江の戦い	660年に滅亡した百済から救済を求められた中大兄皇子は、百済復興のために朝鮮半島へ大軍を送りましたが、唐と新羅の連合軍に大敗を喫しました。この敗戦の結果、日本は朝鮮半島での権益を失い、国内の防衛体制を急いで整える必要に迫られました。
問5	答え 2 土地や人民を国家が直接支配し、法律に基づいて統治を行う律令制度を完成させ、周辺諸国の手本となった。	唐は律・令・格・式の法体系を整え、強力な中央集権体制を築きました。日本はこの仕組みを取り入れるために遣唐使を派遣し、大宝律令などの制定を通じて律令国家への道を歩みました。他の選択肢は、後の時代（中世や近世）の出来事や異なる文化圏の内容です。
問6	答え 1 防人	白村江の戦いでの敗北を受けて整備された防衛体制の一環として、九州の防備を担ったのが「防人」です。主に東国の農民が徴兵され、3年間の任期で九州へと送られました。この防人たちの故郷を思う心情などを詠んだ歌は「防人歌」として万葉集にも数多く収められています。
問7	答え 4 高句麗	聖徳太子の死後、隋に代わって中国を統一した唐は、領土拡大のために朝鮮半島北部の高句麗へ繰り返し遠征を行いました。この強大な帝国の出現と軍事的圧力は、当時の日本にとって大きな脅威となり、国内の結束を固めて天皇中心の強力な国家体制を整える必要性を認識させました。こうした背景から、中大兄皇子らによって大化の改新が断行されることとなりました。
問8	答え 3 仏教を精神的な支えとすることで、豪族を團結させ、天皇を中心とした国家体制を安定させるため	当時の日本は有力な豪族たちが勢力争いをしており、国家としてのまとまりに欠けていました。聖徳太子は、共通の信仰対象として仏教を広めることで、豪族たちの対立を解消し、中央集権的な国家を作り上げるための精神的基盤にしようと考えました。これは、冠位十二階や十七条の憲法といった制度改革とも連動した動きです。
問9	答え 1 大陸の進んだ文化や技術を導入し、天皇を中心とした国家の仕組みを整えるため	当時の日本は、中国の大陸王朝（隋や唐）のような強力な中央集権国家を目指していました。寺院の建立には高度な土木・建築技術や金属加工技術が必要であり、教典の読解には高度な教育が不可欠でした。仏教を広めることは、これら大陸の先進的な知見を体系的に吸収することを意味しており、それを天皇が主導することで、天皇の権威を高め、国をまとめる大きな助けとなりました。
問10	答え 1 天智天皇の死後、皇位継承をめぐって弟の大海人皇子と子の大友皇子が争い、勝利した大海人皇子が天武天皇となった。	壬申の乱は、天智天皇の死後に皇位継承をめぐって起こった内乱です。勝利した大海人皇子は即位して天武天皇となり、天皇への権力集中を進めました。他の選択肢は、それぞれ大化の改新、白村江の戦い、藤原京に関する説明となります。
問11	答え 3 高句麗	7世紀、朝鮮半島の北部を支配していた高句麗は、中国を統一した隋やそれに続く唐と激しく対立し、度重なる攻撃を受けました。この強力な唐の動きは朝鮮半島全体や日本にも大きな危機感を与え、日本の国内政治が中央集権化へと向かう国際的な背景となりました。新羅は後に唐と結んで、高句麗や百済を滅ぼすこととなります。
問12	答え 3 中国や朝鮮半島を経由し、インドや西アジアの影響も受けた国際色豊かな文化である。	この時期の文化は、大陸との活発な交流により、シルクロードを通じて遠く西アジアやインドの意匠が日本に伝わったことが大きな特徴です。例えば、法隆寺の建築様式などには、ギリシャに見られる柱のふくらみ（エンタシス）の影響があるという説もあり、当時の国際的な広がりを示しています。
問13	答え 2 隋	6世紀末に中国を再統一した隋に対し、日本は「遣隋使」を派遣しました。小野妹子は607年に派遣された代表的な人物です。この時期の日本は、推古天皇の摂政であった聖徳太子らを中心に、大陸の優れた政治制度や仏教文化を取り入れることで、天皇中心の国づくりを進めようとしていました。

- 問1 聖徳太子が小野妹子を中国の隋に派遣した際、隋の皇帝に宛てた国書の中に「日出づるところの天子、書を日没するところの天子に致す、恙なきや」という一節がありました。このような表現を用いて使節を派遣した聖徳太子の意図として、最も適切な説明を選んでください。 (2022年 和歌山県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------------------------------------|--------------------------------------|---|--|
| 1. 当時の中国の圧倒的な武力を背景に、日本の統治権を委ねる意思を示すため | 2. 隋で流行していた新しい仏教の経典を、日本へ無償で提供してもらうため | 3. 中国を上位とする従来の形式ではなく、対等な立場での国交を樹立しようとするため | 4. 隋の皇帝の臣下として認めてもらい、朝鮮半島での軍事的優位を確保するため |
|---------------------------------------|--------------------------------------|---|--|
- 問2 推古天皇の時代、聖徳太子（厩戸王）らは、従来の氏姓制度のように「家柄」によって地位が決まる世襲の仕組みを改めようとしていました。そのために導入された「冠位十二階」という制度の主な目的を説明したものとして、最も適切な記述を選びなさい。 (2024年 秋田県公立入試 類似)
- | | | | |
|------------------------------------|--------------------------------------|---------------------------------|----------------------------------|
| 1. 家柄にとらわれず、才能や功績のある人物を役人として登用すること | 2. 天皇と役人が守るべき政治的な道徳を、十七条の項目にまとめて示すこと | 3. 仏教の教えを広めるために、僧侶に十二段階の位を授けること | 4. 地方の豪族に対して、代々その土地を支配する権利を認めること |
|------------------------------------|--------------------------------------|---------------------------------|----------------------------------|
- 問3 7世紀の飛鳥時代、聖徳太子（厩戸王）によって現在の奈良県に建立され、現存する世界最古の木造建築物として知られる寺院を選びなさい。 (2021年 大阪府公立入試 類似)
- | | | | |
|--------|--------|---------|--------|
| 1. 延暦寺 | 2. 東大寺 | 3. 四天王寺 | 4. 法隆寺 |
|--------|--------|---------|--------|
- 問4 日本の古代史に関する略年表を作成した際、663年の出来事として「倭の軍が、白村江の戦いで、唐と【 】の連合軍に敗れる」と記述する場合、空欄に当てはまる国名として適切なものはどれか。 (2017年 北海道公立入試 類似)
- | | | | |
|-------|-------|-------|--------|
| 1. 百済 | 2. 新羅 | 3. 高麗 | 4. 高句麗 |
|-------|-------|-------|--------|
- 問5 天武天皇から持統天皇の時期にかけて進められた、天皇中心の政治体制を整えるための具体的な記述として最も適切なものはどれですか。 (2022年 福岡県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------------------------------------|--|---|---|
| 1. 飛鳥浄御原令の編纂や、日本という国号、天皇という称号の使用を定めた。 | 2. 平安京へ遷都を行い、新しい仏教勢力と結びついて律令政治の立て直しを図った。 | 3. 冠位十二階を定めて家柄にとらわれず才能のある人物を登用し、憲法十七条を作成した。 | 4. 仏教の力で国家を守るため、全国に国分寺や国分尼寺を建立することを命じた。 |
|---------------------------------------|--|---|---|
- 問6 645年から始まった大化の改新において示された、それまで有力な豪族が私有していた土地や人民を、国家（天皇）が直接支配する体制へと改める方針を何といいますか。 (2021年 和歌山県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|------------|---------|---------|
| 1. 版籍奉還 | 2. 墾田永年私財法 | 3. 地租改正 | 4. 公地公民 |
|---------|------------|---------|---------|
- 問7 聖徳太子が定めた冠位十二階について、この制度が目指した内容を説明したものとして正しいものを選びなさい。 (2022年 高知県公立入試 類似)
- | | | | |
|--------------------------------|--------------------------------------|------------------------------------|------------------------------------|
| 1. 一度授けられた位は子孫に受け継がれることを原則とした。 | 2. 個人の能力や功績に応じて、色の異なる冠を授けて役人の位を区別した。 | 3. 地方の豪族を「国司」として任命し、土地と人民を直接支配させた。 | 4. 全ての国民を戸籍に登録し、口分田を割り当てるための基準とした。 |
|--------------------------------|--------------------------------------|------------------------------------|------------------------------------|
- 問8 西暦による歴史の時代区分において、西暦601年から西暦700年までの100年間を指す名称として正しいものを選びなさい。 (2020年 神奈川県公立入試 類似)
- | | | | |
|--------|--------|--------|--------|
| 1. 8世紀 | 2. 6世紀 | 3. 5世紀 | 4. 7世紀 |
|--------|--------|--------|--------|
- 問9 607年に小野妹子が遣隋使として中国の隋へ派遣された時期の日本の様子について、法隆寺が建立されるなど、現在の奈良県にある飛鳥地方を中心に栄えた、日本で最初の本格的な仏教文化を何と呼ぶか。 (2017年 佐賀県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|---------|---------|------------|
| 1. 飛鳥文化 | 2. 国風文化 | 3. 天平文化 | 4. 弘仁・貞観文化 |
|---------|---------|---------|------------|
- 問10 672年の壬申の乱を制して即位した天武天皇は、天皇を中心とする強力な中央集権国家の確立を推し進めました。天武天皇が行った、日本の国家としての地位を固めるための事績として正しいものはどれですか。 (2018年 神奈川県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|---|--------------------------------------|
| 1. 大宝律令を完成させて全国に施行し、唐の制度に倣った本格的な官僚機構を完成させた | 2. 「天皇」という称号や「日本」という国号の使用を本格化させ、八色の姓を定めて貴族を序列化した | 3. 十七条の憲法を制定して役人の道徳を示し、小野妹子を遣隋使として大陸に派遣した | 4. 平城京へ都を移し、和同開珎という貨幣を発行して経済の活性化を図った |
|--|--|---|--------------------------------------|
- 問11 「和を以（もつ）て貴（たうと）しとなす」や「篤（あつ）く三宝（仏・法・僧）を敬え」といった一節が含まれ、天皇の命令には必ず従うことなどを役人に説いた法令が制定された「目的」として最も適切な説明はどれですか。 (2018年 三重県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------------------------------------|---|---|---------------------------------------|
| 1. キリスト教の布教を禁止し、貿易を制限することで幕府の権威を高めるため | 2. 豪族たちに役人としての自覚を持たせ、天皇を中心とした政治の仕組みを整えるため | 3. 武士に対して、領地をめぐる争いを解決するための公正な裁判の基準を示すため | 4. 律令に基づいて全国の土地と人民を直接支配する公地公民制を確立するため |
|---------------------------------------|---|---|---------------------------------------|
- 問12 壬申の乱という大規模な内乱を経て、大海人皇子（天武天皇）が自らの権威を背景に構築を目指した、法に基づく国家体制を何と呼びますか。 (2025年 愛知県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|---------|---------|---------|
| 1. 律令国家 | 2. 摂関政治 | 3. 幕藩体制 | 4. 封建国家 |
|---------|---------|---------|---------|
- 問13 645年に中大兄皇子らが中心となって始まった大化の改新の後、日本は朝鮮半島での戦いに敗れ、外交・国防上の大きな転換期を迎えました。この時期の出来事について述べた文として最も適切なものはどれか。 (2025年 岐阜県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|--|---|
| 1. 白村江の戦いで唐・新羅の連合軍に大敗した後、侵攻に備えて九州に水城を築き、都を近江大津宮へ移した。 | 2. 白村江の戦いで新羅を援護して唐を退けた後、百済との同盟を強化して朝鮮半島での権益を拡大した。 | 3. 白村江の戦いの敗北を受けて、地方を統治する国司の権限を大幅に強め、各地方の豪族に独自の軍事権を与えた。 | 4. 唐や新羅の脅威に対抗するため、中大兄皇子は天皇への即位を辞退し、蘇我氏とともに集団指導体制を敷いた。 |
|--|---|--|---|
- 問14 7世紀の日本における政治的な変遷をたどると、645年に蘇我氏を打倒した「乙巳の変」をきっかけに大きな改革が始まりました。この改革の中心人物であり、後に近江大津宮で即位して天智天皇となった人物は誰ですか。 (2022年 静岡県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|----------|---------|----------|
| 1. 聖徳太子 | 2. 大海人皇子 | 3. 中臣鎌足 | 4. 中大兄皇子 |
|---------|----------|---------|----------|

答え合わせ・解説

問1	答え 3 中国を上位とする従来の形式ではなく、対等な立場での国交を樹立しようとするため	それまでの日本の外交は、中国の皇帝から称号を授かることで地位を認めてもらう「朝貢」の形式が一般的でした。しかし、聖徳太子は自らを「日出づるところの天子」と称し、隋の皇帝と対等の立場で交流しようとして試みました。これには、日本の独立性を高めつつ、高度な技術や制度を吸収しようという目的がありました。
問2	答え 1 家柄にとらわれず、才能や功績のある人物を役人として登用すること。	冠位十二階は、それまでの「氏（家柄）」に基づく世襲制の官職登用を改め、個人の能力や手柄を評価して役人を採用するために作られました。これにより、優秀な人材を政府の中核に集め、天皇を中心とする中央集権的な国家体制を整える狙いがありました。選択肢にある「十七条の項目」は、翌年に制定された「十七条の憲法」の説明です。
問3	答え 4 法隆寺	聖徳太子は推古天皇の摂政として仏教を厚く保護し、国づくりの中心に据えました。法隆寺は飛鳥文化を代表する建築物であり、1993年には日本で初めての世界文化遺産の一つとして登録されました。選択肢の四天王寺も聖徳太子による建立ですが、世界最古の木造建築として現存しているのは法隆寺です。
問4	答え 2 新羅	7世紀の朝鮮半島では高句麗、百済、新羅の三国が争っていました。新羅は中国の唐と連合し、660年に百済を滅ぼしました。日本（倭）は百済の復興を支援するために軍を送りましたが、663年の白村江の戦いで唐・新羅の連合軍に大敗しました。その後、新羅は高句麗も滅ぼし、唐の勢力も退けて朝鮮半島を統一しました。選択肢にある高麗は、新羅の後に朝鮮半島を統一した10世紀の王朝であり、誤りです。
問5	答え 1 飛鳥浄御原令の編纂や、日本という国号、天皇という称号の使用を定めた。	壬申の乱の勝利後、天武天皇は独自の年号を定め、法体系である律令の整備（飛鳥浄御原令）に着手しました。また、中国に対して独立した立場を示す「日本」という国号や、統治者の称号としての「天皇」を本格的に使い始めたのもこの時期とされています。他の選択肢はそれぞれ聖武天皇、桓武天皇、聖徳太子の事績です。
問6	答え 4 公地公民	大化の改新で出された「改新の詔（みことのり）」の第一条では、豪族が支配していた土地（田荘）や人民（部曲）を廃止し、すべてを国家のものとすることが宣言されました。これが公地公民の制であり、天皇を中心とする律令国家を目指すための重要な基盤となりました。
問7	答え 2 個人の能力や功績に応じて、色の異なる冠を授けて役人の位を区別した。	冠位十二階は、役人に色のついた冠を与えることで、その序列を明確にした制度です。これは世襲制であった氏姓制度とは異なり、個人の功績を評価する仕組みであり、翌年に定められた「十七条の憲法」とともに、役人の規律を正し、中央集権体制を整える役割を果たしました。
問8	答え 4 7世紀	歴史上の世紀の数え方は、1世紀を1年から100年までと定義します。これに従うと、601年から700年までの期間は7番目の100年間となるため、7世紀と呼ばれます。西暦の百の位の数字に1を足すと、その年が何世紀かがわかります。
問9	答え 1 飛鳥文化	6世紀末から7世紀前半にかけて、聖徳太子や蘇我氏が仏教を保護したことで成立した文化です。遣隋使の派遣などを通じて、中国（隋）や朝鮮半島の進んだ技術や思想が取り入れられました。この時期の代表的な建築物として、世界最古の木造建築である法隆寺が挙げられます。
問10	答え 2 「天皇」という称号や「日本」という国号の使用を本格化させ、八色の姓を定めて貴族を序列化した	天武天皇は壬申の乱という国内最大級の内乱を勝ち抜いたことで、極めて強い権力を手にしました。これを利用して、それまで有力豪族の連合体であった政治体制を、天皇を頂点とする秩序へと作り替えようとしてしました。具体的には、「八色の姓（やくさのかばね）」を制定して豪族たちを天皇に仕える官僚として序列化したほか、国家としてのアイデンティティを確立するために「日本」という国号や「天皇」の称号を用い始めたと考えられています。
問11	答え 2 豪族たちに役人としての自覚を持たせ、天皇を中心とした政治の仕組みを整えるため	当時は豪族がそれぞれの領地や私民を支配していましたが、聖徳太子は彼らを国家の「役人」として位置づけようとしてしました。互いに争わずに協力すること（和）や、仏教を敬うこと、天皇の命令を遵守することを求めることで、豪族間の対立を抑え、天皇に権力を集中させる狙いがありました。なお、全国的な土地支配を定めた「公地公民」は、後の大化の改新以降の動きです。
問12	答え 1 律令国家	天武天皇は、内乱を勝ち抜いたことで得た強大な権力を使い、官僚組織の整備や戸籍の作成、法典（律令）の編纂などを進めました。このように、天皇を頂点として法によって全国を統治する仕組みを律令国家と呼びます。この流れは、次の持統天皇や大宝律令の完成へと引き継がれていきました。
問13	答え 1 白村江の戦いで唐・新羅の連合軍に大敗した後、侵攻に備えて九州に水城を築き、都を近江大津宮へ移した。	中大兄皇子は百済復興のために軍を派遣しましたが、663年の白村江の戦いで唐・新羅の連合軍に大敗しました。その後、日本への侵攻を恐れた中大兄皇子は、九州に防衛施設である水城や山城（朝鮮式山城）を築き、都を内陸の近江大津宮（滋賀県）へ移して防衛を固めました。天智天皇として即位するのもこの時期のことです。
問14	答え 4 中大兄皇子	蘇我入鹿を倒して権力を奪還した中大兄皇子は、中臣鎌足らとともに「大化の改新」と呼ばれる政治改革を推進しました。この改革は、豪族中心の政治から天皇を中心とする中央集権国家への転換を目指したもので、中大兄皇子はその後、正式に天智天皇として即位しました。

- 問1 7世紀初め、聖徳太子は中国の進んだ制度や文化を取り入れることを目的として、小野妹子らを隋（ずい）へ派遣しました。この外交政策の名称として正しいものを、次のうちから選んでください。（2015年 大分県公立入試 類似）
1. 遣明使
 2. 朝鮮通信使
 3. 遣唐使
 4. 遣隋使
- 問2 ある歴史上の人物の業績をまとめた資料に、「蘇我氏を打倒して新しい国家体制の基礎を築いた後、滋賀県の近江大津宮で即位した」という記述があります。この人物が後に即位した名称として正しいものはどれですか。（2020年 茨城県公立入試 類似）
1. 聖武天皇
 2. 天智天皇
 3. 桓武天皇
 4. 推古天皇
- 問3 645年に始まった大化の改新を中臣鎌足とともに主導した中大兄皇子は、後に天皇として即位し、わが国初となる全国的な戸籍を作成するなどの政治改革を推進しました。この人物の名称として正しいものを選んでください。（2018年 愛媛県公立入試 類似）
1. 天智天皇
 2. 聖徳太子
 3. 桓武天皇
 4. 天武天皇
- 問4 7世紀前半の東アジアでは、中国を統一した唐が、朝鮮半島の北部に位置する国を攻撃するなど、軍事的な緊張が高まっていました。このような国際情勢の変化は、日本において強力な中央集権国家を目指す大化の改新が起こる大きな要因となりました。このとき、唐の攻撃を受けた朝鮮半島北部の国名を答えなさい。（2021年 熊本県公立入試 類似）
1. 百済
 2. 新羅
 3. 渤海
 4. 高句麗
- 問5 飛鳥時代、推古天皇の摂政であった聖徳太子は、中国を統一した隋の高度な制度や文化を取り入れるために使節を派遣しました。607年にこの使節（遣隋使）として中国へ渡った人物の名前として正しいものはどれですか。（2022年 栃木県公立入試 類似）
1. 小野妹子
 2. 鑑真
 3. 足利義満
 4. 中大兄皇子
- 問6 飛鳥時代に聖徳太子（厩戸皇子）が定めた「十七条の憲法」の内容と、その対象について説明したものとして最も適切なものはどれですか。（2015年 鹿児島県公立入試 類似）
1. 日本で初めての本格的な律令であり、天皇を中心とした行政組織の仕組みや刑罰について詳しく定められている。
 2. 一般の民衆に対して年貢の納め方や犯罪の取り締まりについて説いたもので、儒教の教えを広めるために作られた。
 3. 役人が守るべき道徳や心得を示したもので、和を大切にすることや天皇の命令には必ず従うべきことなどが記されている。
 4. 武士に対して領地に関する争いを裁くための基準を示したもので、前例や道理に基づいて公正に裁判を行うことを目的としている。
- 問7 飛鳥時代において、聖徳太子（厩戸王）を摂政に任命し、協力して天皇を中心とした国づくりを進めた日本初の女性天皇は誰ですか。（2026年 静岡県公立入試 類似）
1. 持統天皇
 2. 天智天皇
 3. 天武天皇
 4. 推古天皇
- 問8 壬申の乱に勝利して即位し、律令に基づく天皇中心の国づくりを強力に進めた人物は誰ですか。（2024年 岩手県公立入試 類似）
1. 桓武天皇
 2. 推古天皇
 3. 聖武天皇
 4. 天武天皇
- 問9 飛鳥時代から現代までの日本の歴史を時系列で並べた際、聖徳太子が「十七条の憲法」を制定した時期よりも「後」の出来事であり、かつ奈良時代に行われた事柄として正しいものはどれですか。（2024年 静岡県公立入試 類似）
1. 日本で最初の女性天皇として、推古天皇が即位し政治の基盤を整えたこと
 2. 安土桃山時代を象徴する、豪華な装飾が施された城郭が各地に築かれたこと
 3. 自分で新しく切り開いた土地を永久に自分のものにすることを認める「墾田永年私財法」の施行
 4. バブル経済が崩壊し、長期にわたる景気の後退が始まったこと
- 問10 古代の権力争いに関する記録において、蘇我氏が渡来人の持つ高度な技術や知識を背景に勢力を伸ばし、対立する物部氏を退けて政治の実権を握った背景について、正しい説明はどれか。（2025年 岡山県公立入試 類似）
1. 蘇我氏は独自の神事による統治を目指し、仏教を広めようとした渡来人の一族を追放した
 2. 蘇我氏は武家社会の到来を予見し、幕府を開くために伝統的な公家勢力であった物部氏を制圧した
 3. 蘇我氏は守護大名としての地位を確立するため、山名氏と結んで応仁の乱を引き起こした
 4. 蘇我氏は大陸の新しい宗教や文化を国家運営に活用しようとし、反対派を排除して中央集権化を進めた
- 問11 飛鳥時代、聖徳太子（厩戸王）が推古天皇の摂政として政治を行っていた時期に定められた「冠位十二階」の制度について、その目的を説明したものとして最も適切なものはどれですか。（2019年 長崎県公立入試 類似）
1. 仏教の教えを政治の基本とし、国民全体の道徳を高めるため
 2. 有力な豪族に対し、代々特定の役職に就く特権を認めるため
 3. 戸籍を作成して人々に土地を割り当て、税の徴収を確実にするため
 4. 家柄にとらわれず、能力や功績のある人物を役人に登用するため
- 問12 用明天皇の皇子であり、叔母にあたる推古天皇の摂政として、蘇我馬子と協力しながら政治を行った人物は誰か。（2020年 熊本県公立入試 類似）
1. 聖徳太子
 2. 藤原不比等
 3. 中大兄皇子
 4. 大海人皇子
- 問13 7世紀後半、朝鮮半島で滅亡した百済を復興させるために日本が送った軍が、唐と新羅の連合軍に大敗した戦いを何というか、名称を答えなさい。（2021年 三重県公立入試 類似）
1. 長篠の戦い
 2. 壇ノ浦の戦い
 3. 桶狭間の戦い
 4. 白村江の戦い
- 問14 「第一条に、和をなによりも大切なものとする」「第二条に、仏・法・僧の三つの宝を敬うこと」「第三条に、天皇の命令を承ったときは必ず謹んで従うこと」といった内容が記されている資料の、歴史的な背景として最も適切なものはどれですか。（2023年 長崎県公立入試 類似）
1. 遣唐使によってもたらされた最新の法律制度をそのまま導入し、法治国家を目指した。
 2. 仏教を国教として定め、寺院が政治に介入することを認める特権を与えた。
 3. 豪族同士の争いを鎮め、天皇を中心とした中央集権体制の基礎を築こうとした。
 4. 武士が政治の実権を握ったため、朝廷の権威を取り戻すための軍事的な規則を定めた。
- 問15 聖徳太子が活躍した7世紀初め頃の政治の様子について、制度の内容とその背景を記述した文として正しいものはどれですか。（2019年 長崎県公立入試 類似）
1. 律令に基づいて全国を国・郡・里に分け、中央集権的な地方支配体制が完成した。
 2. 冠の色によって12段階の位を示し、個人の功績に応じて地位を与える制度が整えられた。
 3. すべての土地を国有とする「公地公民」の原則が確立され、農民に口分田が与えられた。
 4. 地方の有力者が「国司」として任命され、中央から派遣された役人と共に土地を治めた。

答え合わせ・解説

問1	答え 4 遣隋使	聖徳太子は、推古天皇の摂政として政治を行う中で、小野妹子らを中国の隋へ派遣しました。これが遣隋使です。当時、中国は巨大な帝国として高度な文明を誇っており、日本はそこから法律や政治制度、仏教などの文化を直接学ぶことで、国力を高めようとしていました。
問2	答え 2 天智天皇	中大兄皇子は長らく皇太子の立場で改革を主導していましたが、後に即位して天智天皇となりました。天智天皇は日本最古の全国的な戸籍とされる「庚午年籍」を作成するなど、中央集権化をさらに進めたことで知られています。
問3	答え 1 天智天皇	飛鳥時代、中大兄皇子は蘇我氏を打倒して大化の改新を断行しました。その後、天智天皇として即位すると、わが国最初の全国的な戸籍である「庚午年籍（こうごねんじやく）」を整備しました。これは、人民を国家が直接支配し、税の徴収を安定させるための重要な基盤となりました。
問4	答え 4 高句麗	聖徳太子の死後、隋に代わって中国を統一した唐は、領土拡大のために朝鮮半島北部の高句麗へ繰り返し遠征を行いました。この強大な帝国の出現と軍事的圧力は、当時の日本にとって大きな脅威となり、国内の結束を固めて天皇中心の強力な国家体制を整える必要性を認識させました。こうした背景から、中大兄皇子らによって大化の改新が断行されることとなりました。
問5	答え 1 小野妹子	聖徳太子は、中国の「隋」に「遣隋使」を派遣して大陸の優れた文化や政治制度を学ぼうとしました。607年には小野妹子が使節として送られ、隋の皇帝である煬帝に国書を届けました。これ以前の時代のように中国の皇帝に臣下として仕えるのではなく、主権国家として交流を図ろうとした重要な出来事です。
問6	答え 3 役人が守るべき道徳や心得を示したもので、和を大切にすることや天皇の命令には必ず従うべきことなどが記されている。	聖徳太子は、推古天皇の摂政として中央集権国家の建設を目指しました。十七条の憲法は、当時の豪族たちに天皇に仕える「役人」としての自覚を持たせるために制定されたものです。儒教や仏教の思想を取り入れ、第一条では「和をもって貴しとなす（争いをせず協力し合うこと）」、第三条では「詔（天皇の命令）を承りては必ず謹め」と記し、天皇を中心とした政治体制の基礎を築こうとしました。
問7	答え 4 推古天皇	592年に即位した推古天皇は、甥である聖徳太子を「摂政」という役職に就け、共同で政治を行いました。この時期には冠位十二階や十七条の憲法の制定、遣隋使の派遣など、中国（隋）の制度を取り入れた重要な政策が次々と打ち出されました。
問8	答え 4 天武天皇	大海人皇子は壬申の乱で勝利を収めた後、天武天皇として即位しました。天武天皇は、律令の編纂に着手したり、それまでの「大王」に代わって「天皇」の称号を本格的に使用し始めたりするなど、強力な指導力を発揮して国家の基盤を固めました。
問9	答え 3 自分で新しく切り開いた土地を永久に自分のものにすることを認める「墾田永年私財法」の施行	十七条の憲法は7世紀初頭の飛鳥時代に制定されました。これに対し、墾田永年私財法は8世紀（743年）の奈良時代に制定された法令であり、時代順として後に位置します。推古天皇の即位は憲法制定の前提となる出来事であり、城郭の建築やバブル崩壊はそれよりもさらに数百年から千年以上後の出来事です。当時の社会状況の変化を時代区分ごとに理解することが重要です。
問10	答え 4 蘇我氏は大陸の新しい宗教や文化を国家運営に活用しようとし、反対派を排除して中央集権化を進めた	当時の蘇我氏は、渡来人と深く結びつくことで先進的な技術や仏教という新しい思想を政治に取り入れ、それまでの氏族制度に基づいた政治を打破しようと試みました。これに対し、伝統的な儀式を司ることで地位を維持してきた物部氏は、自身の権益を守るために仏教受容に反対しました。蘇我氏の勝利は、後の聖徳太子による改革や、仏教を中心とした国家体制の整備に大きく影響を与えました。
問11	答え 4 家柄にとらわれず、能力や功績のある人物を役人に登用するため	それまでの日本の政治では、特定の氏族が代々決まった役職を引き継ぐ「氏姓制度」が中心でしたが、聖徳太子は個人の能力を重視するこの制度を導入しました。これにより、天皇に従順で有能な人材を役人として集め、天皇中心の国づくりを進める狙いがありました。選択肢にある土地の割り当ては、後の「班田収授法」の内容です。
問12	答え 1 聖徳太子	推古天皇の時代に摂政という重要な役職に就き、豪族の蘇我馬子とともに改革を進めました。家柄に関係なく才能ある人物を登用する冠位十二階を定めるなど、天皇を中心とした国家体制の整備に尽力した人物です。
問13	答え 4 白村江の戦い	663年に朝鮮半島の白村江で行われたこの戦いは、中大兄皇子（のちの天智天皇）の時代に起こりました。日本は伝統的に友好関係にあった百済を支援しましたが、唐と新羅の強力な連合軍の前に大敗を喫しました。これにより、日本は朝鮮半島における影響力を失うこととなりました。
問14	答え 3 豪族同士の争いを鎮め、天皇を中心とした中央集権体制の基礎を築こうとした。	当時の日本は有力な豪族が勢力を争っており、政治の混乱が続いていました。聖徳太子は、役人が守るべき道徳や心得を示すことで、豪族たちの対立を抑え、天皇を中心としたまとまりのある国を作ろうと考えました。仏教や儒教の教えが取り入れられているのは、それらが普遍的な倫理観として、豪族を教化し国家を統合するのに適していたためです。
問15	答え 2 冠の色によって12段階の位を示し、個人の功績に応じて地位を与える制度が整えられた。	冠位十二階は、位によって冠の色を分けることで、宮中における序列を視覚的に明確にした制度です。これは個人の能力を評価する仕組みであり、世襲によって地位が決まっていた当時の豪族主導の政治を改めようとしたものです。他の選択肢にある国司の設置や公地公民などは、大化の改新以降の「律令国家」へと向かう過程で整備された仕組みです。